

# To Be!

見つける、叶える、なりたい自分。それが東北文教大流。



**民**話と聞くと、なんだかつまらなそうで、自分には縁遠いところだ...。そんなイメージを抱く人も少なくはないでしょう。ところが東北文科大学では、たくさんの人に民話の魅力を広めようと学生たちがラジオ番組づくりに奮闘しています。イマドキ女子たちもハマる民話の世界。ちょっとのそいでみませんか？

## 知るほどに奥深い「民話」。その魅力をラジオにのせて

山形県は民話の宝庫。そんな民話の魅力を若い世代にもっと知ってもらおうと、平成26年にはじまった本学学生によるラジオ番組「みんなdeみんな」が、今年で6年目を迎えました。FM山形との共同制作によるこの番組は、パーソナリティである学生たちが集め歩いた山形県内津々浦々の民話を、毎回自分たちの視線を交えながら紹介するというもの。語り手さんへの取材にはじまり、その後の音源の編集、ラジオ局との打合せや番組収録に至るまで、番組づくりのすべての過程に学生が携わっています。番組の監修を務めるのは、本学民話研究センター。当センターのセンター長でもある総合文化学科の佐藤晃教授と、同学科の依田平准教授が、学生たちの活動をバックアップしています。

番組では、学生が地域の語り手さんのもとへ直接出向き、収録してきた民話を放送します。各地域の方言で語られるそれらの民話はどこか懐かしく、感情豊かな語り口は聴き手の想像力を大いにかき立ててくれます。そして民話の後にパーソナリティの学生たちが率直な感想を語り合うコーナーも番組の聴きどころの一つ。時に悲しさや恐ろしさの要素を伴う独特の世界観の中にも、ストーリーの背景にある当時の人々の暮らし、さらに今に通じる教訓が読み取れることを学生ならではの新鮮な目線で分析しています。「学生の取材を語り手さんたちも楽しみにしています。山形の民話を伝えてくれるよう学生たちに期待しています。」と佐藤教授。学生たちの意欲的な姿勢に、今後も一層の期待を寄せています。



# 特集 民話っておもしろい!



## 民話から広がる出会いと豊かな可能性

佐藤教授に誘われて活動に参加するようになったのは、総合文化学科2年の菅井梨帆さん、土田有紗さんの2人。地域の方々との交流や民話語りという豊かな文化との出会いが、自身を大きく成長させてくれると口を揃えます。

一方、子ども教育学科2年の丹海悠さんは先輩に誘われ、メンバーの一員に。それまでは、「なんとなくつまらなそう」と思っていた民話でしたが、今では「知らないと損。ちょっと聴いてみて!」と、その魅力を力強くアピールします。

そして3人の兄貴的存在が、子ども教育学科4年の湯澤真さん。ラジオ番組づくりをとおして、語り手さんの表現により音声だけで楽しめる民話の面白さを再発見できたそう。「将来は小学校の先生として、子どもたちが直接民話を聴ける機会をつくりたい」と目を輝かせます。

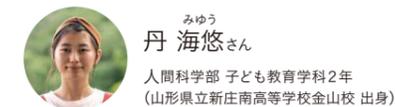
## 未来へも継承したい。祖先からの大切な贈り物

「みんなdeみんな」のオープニングトークには、毎回流れるこんなフレーズが。『民話は、親が自分の子どもを思う、愛情あふれた祖先からのメッセージ。未来を担う、子どもたちへの最大の贈りもの・プレゼントでもあるんですね』。民話のふくよかな世界に光を当て、豊かに民話を継承していく学生たちのユニークな取り組みに、今後も目が離せません。

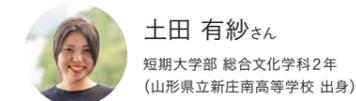


## MEMBER'S VOICE

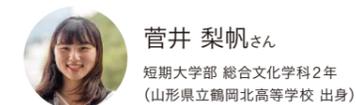
- ① 活動に参加したきっかけは?
- ② どの点が面白いと感じる?
- ③ どの点が難しいと感じる?
- ④ 活動をとおして成長できた点は?
- ⑤ この経験を今後どう活かしたい?



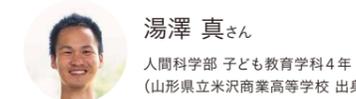
① 活動をしていた先輩に誘われ、興味を持ったから。② 先生方や友達、語り手さんと一つの番組を作りあげていくところ。③ 知識が増えた。活動をとおして出会えた友達の優しさや気配りを真似したいと思うようになった。④ 活動をとおして成長できた点は? ⑤ この経験を今後どう活かしたい? スマホで気軽に民話を聴けるようにしてみたい。



① 取材や収録を重ねて放送されるので、達成感を感じられる。② わからない方言を聞き取って話を理解すること。③ リスナーに伝わるような話し方や声の出し方を工夫できるようになった。④ 民話のように、身近にある素敵なものを掘り起こしてみんなに伝えていきたい。



① 学科長にお声がけいただいた。② 実際のラジオ収録を経験でき、地域の方々と交流できること。③ 台本を視聴者に聴きやすいように読むこと。④ 交流の輪が広がった。また「相手に伝えること」をより意識するようになった。⑤ 司会やアナウンスをする際に役立てたい。



① ラジオの世界に触れてみたいと思ったから。② 映像がなくても語り手さんの音声だけで楽しめること。③ 同じ県内でも地域によって方言がまったく違うところ。④ 民話の大切さや面白さを学ぶことができた。⑤ 子どもたちが直接民話を聴ける機会を作っていきたい。

- 番組のDATA
- 放送局 / FM山形
  - 放送日 / 第2週の木曜日
  - 放送時間 / 21:00~21:30
  - 出演者 / 東北文科大学の学生

「みんなdeみんな」の番組づくりに携わっているメンバーは現在4名。個性豊かな面々が番組を盛り上げます!

目標に向かって汗を流す姿って  
やっぱり抜群にカッコいい!

my BEST CIRCLE

新しい発見や刺激が  
自身の成長につながる

普段の練習以外に、毎年7月には由良ビーチサッカー大会に参加するなど、学内にとまらないユニークな活動を展開しています。技術レベルがさまざまな部員が集う中、部長としてそれぞれに考慮したルールを作ったり、練習メニューを考案したり。新しい発見もあり、自身の成長につながっていると感じています。

人間科学部 子ども教育学科 / 3年  
渡部 大空さん  
山形県立山形中央高等学校 出身



1 男子フットサル部



GOAL

2 大好きなバスケが  
日々の原動力に

課題や実習との両立が不安で、最初は躊躇していたサークル活動。ですが実際に入部してみると、練習日が勉強の良い息抜きになり、日々の楽しみのひとつになっています。普段の練習以外にも、部員の誰かの誕生日を祝ったり、大会の後に打ち上げをしたりと、とてもアットホームな雰囲気が気に入っています。

短期大学部 子ども学科 / 2年  
佐々木 千夏さん  
新潟県立佐渡高等学校 出身



2 女子バスケットボール部



SHOOT

2部リーグ優勝に向けて  
気持ちをひとつに

個性豊かな面々が揃い、明るい雰囲気の子バレーボール部。2部リーグ優勝を目標に、元気に練習に励んでいます。得点の場面では、みんなで盛り上がり、喜びを共有できるのがバレーボールの魅力だと思います。小学校からずっと続けてきたことで、何事も諦めない粘り強さを身につけることができました。

短期大学部 人間福祉学科 / 2年  
梅川 楓さん  
山形城北高等学校 出身



3 女子バレーボール部



SMASH

入部して一層深まった  
卓球への情熱

多様な戦型の選手が集まる卓球部。一人ひとりのレベルが高く、練習環境に恵まれていると思います。個々の課題を見つけ、それに合わせた練習メニューを自分たちで考え練習しています。目標は、東北大会レベルの大学生にも打ち負けない選手になること。短大卒業後も、クラブに所属して卓球を続けていきたいです。

短期大学部 人間福祉学科 / 1年  
釜田 優さん  
新庄東高等学校 出身



4 卓球部



WIN

得られた気づきと経験。  
そして仲間との固い絆

男子バスケットボール部は部員の結束力がピカイチ! 楽しみながら強くなることをモットーに、練習に励む日々です。昨年は部長を務めながら、高校のバスケ部のコーチを兼任。高校生への指導とおして、生徒一人ひとりの長所や課題との向き合い方を学び、小学校教員を目指す上でも貴重な経験になりました。

人間科学部 子ども教育学科 / 4年  
小杉 拓哉さん  
山形県立長井高等学校 出身



7 男子バスケットボール部



5 女子フットサル部

パスをつないで...ゴール!  
日々、その楽しさを実感

はじめてサークル見学に行ったとき、「一緒にやろうよ!」と声をかけてくれた女子フットサル部の先輩方。その気さくで明るい雰囲気に惹かれ、入部を決めました。部員みんなが大切にしているのは、試合の勝ち負けよりも、とにかくフットサルを楽しむこと。シューズひとつで参加できる気軽さも気に入っています。

短期大学部 総合文化学科 / 2年  
遠藤 諒夏さん  
福島県立ふたば未来学園高等学校 出身



溢れる「剣道愛」で  
目指せ、日本一!

剣道部のメンバーは、とにかく全員が剣道好き。練習前はふざけていても、練習が始まったら「日本一」という一つの目標に向かい真剣に頑張る、メリハリのある雰囲気が自慢です。毎週金曜日には、地域の方々との合同稽古もあり、世代を越えた交流の輪が広がりました。短大卒業後ももちろん続けていきたいです。

短期大学部 子ども学科 / 2年  
菅野 千夏さん  
宮城県柴田高等学校 出身



8 剣道部



FUNNY

スポーツで鍛えられた  
強い精神力と忍耐力

小学校から続けているバドミントン。個人競技のイメージがありますが、部内に良きライバルを作り、練習の中でお互いを高め合える面白さがあります。夏場の練習やシングルの試合など、時には心が折れそうな場面もありますが、精神面でとても強くなりました。培った忍耐力を、将来にも役立てていきたいです。

短期大学部 総合文化学科 / 2年  
結城 美羽さん  
山形学院高等学校 出身



6 バドミントン部

STRONG



体育サークル編

東北文教大生はいつだって、何に対しても全力!  
今回は体育サークルの中から、代表して8人の学生に登場してもらい、活動の魅力やスポーツの楽しさについて語ってもらいました。



# FOCUS

バラエティー豊かな東北文科大学の教員陣に在籍者がインタビュー。その専門分野を掘り下げ、研究者としての一面にフォーカスするコーナーです。

私がインタビューしました！



人間福祉学科1年 片山知佳さん (山形学院高等学校出身)

## 人間福祉学科 准教授(副学科長) 南條 正人

教員プロフィール/東北文科大学短期大学部 人間福祉学科 准教授、副学科長。仙台大学大学院スポーツ科学修士課程修了。社会福祉学士、スポーツ科学修士。専門分野は社会福祉学、レジャー・レクリエーション学。研究課題に「障がい者における地域生活支援についての研究」など。



レクリエーションから生まれる楽しさの共有が対象者の生活と心の充実につながる

### 総合的なアプローチに不可欠なレクリエーションの重要性

**片山**先生のご専門の一つである「レクリエーション」について教えてください。

**南條**レクリエーション(以下、レク)と言うと、ゲーム・ソング・ダンスといったイメージを抱く人が多いかと思いますが、レクとは、そもそも単に種目的な観点で捉えるものではなく、「活動に参加する人がいかにプラスの感情を得られているか」という視点で捉えることが重要。介護の専門職を目指している本学人間福祉学科の学生は、福祉サービス利用者(要支援・要介護の高齢者や障がい者)を対象とした「福祉レクリエーション」の支援について学ぶわけですが、それは単に日常生活を楽しむための手段に留まらず、日常生活動作(ADL)の維持・改善、生活課題や問題点を緩和する手段としても必要なのです。また福祉サービス利用者に対して総合的なアプローチをする上で、レクの視点を取り入れることによ

り利用者の心の元気に繋げることが出来るものだと思います。

**片山**福祉サービスの現場では、レクの重要性や有効性がどのくらい認知されているのでしょうか？

**南條**数十年前に比べると、レク活動を取り入れる福祉施設は格段に増えてはいるものの、残念ながらすべての施設がレク本来の役割や意義を十分に理解し、適切なレク支援を立案・実践できているとは言いがたいのが現状です。レクの重要性がもっと認識されるべきで、同時にそのための人材育成が不可欠だと強く感じます。

まずは自分が楽しむこと。そして一人ひとりに合わせたレクリエーション支援を

**南條**自分自身がさまざまなレクを知らなければ支援をすることもできませんから、授業の中では実際に学生たちに活動を体験してもらうことに重点を置いています。

**片山**学外で利用者と直接関わりながら、レク支援を学べる機会も豊富だと感じます。

**南條**知的障がい者を対象としたレク活動や障がい者スポーツレクなど、私が外部に持っているフィールドに学生をスタッフとして引率する機会を多く作っていますね。利用者とのように関わり、どのように説明したらより伝わりやすいのか、実践の中で習得してほしいと考えているからです。

**片山**レク支援を学ぶ私たち学生が、特に意識すべきことはありますか？

**南條**何より伝えたいのは、レク支援をする側が楽しくなければ、きっと利用者も楽しめないということ。その上で、利用者一人ひとりの身体状況や介護度に合わせた柔軟な支援を行うことが大切です。



## NOTICE BOARD

REPORT 中学生を対象とした保育ワークショップを開催。



中学生を対象としたワークショップ「保育の魅力を感じよう！～あそびの中の学び～」を、3月18日に本学ならびに本学付属幼稚園を会場に開催しました。本企画は2018年に続き2回目の開催。予想を超えるたくさんのご応募をいただきました。前半では、「子ども達と遊んでみよう！」という企画で、付属幼稚園に通う年中組の子ども達と一緒に遊ぶ企画を行いました。付属幼稚園教諭の阿部美里先生を講師に「どんぐり君の仲間たちを作ろう！」というテーマの中で子どもたちとふれあい、遊びました。後半では、子ども教育学科の教員より、保育の魅力についての講話があり、話に深く聴き入っている参加者の方々の姿が印象的でした。

REPORT 剣道部が合同稽古を開催。



剣道部は、毎週金曜日に地域の方々との合同稽古を開催しています。昨年度は体育館改修工事の関係で、12月までの実施でした。現在まで、幼稚園児から、山形県立上山明新館高等学校、山形市立第九中学校、山形市立第十中学校、高島町立高島中学校、杉の子剣友会(山形市立南山形小学校、山形市立みはらしの丘小学校、山形市立本沢小学校)、山形市立桜田小学校、山形市立南小学校の児童・生徒の皆さんが参加してくださいました。その他に、OG(剣道会)をはじめ、山形県内の多くの先生方、保護者の方々も参加してください、平成30年度の参加者は延べ437名(開始以来2,454名)でした。この稽古会は今後も継続していく予定です。

REPORT 児童教育センター公開講座(小学校英語)を開催。



2019年度児童教育センター公開講座(小学校英語)を5月15日、6月19日の2回にわたって開催しました。本年度のテーマは「外国語・外国語活動のねらいの理解を深めるーコミュニケーションを楽しむためにー」。理論編である第1回目は子ども教育学科の山口常夫教授を講師に、示範授業、参加者同士の意見交換、示範授業の解説を含めた講話の3部構成で実施。そして実践編である第2回目は山口教授と総合文化学科のSimon Reeves准教授が講師を務めました。講座の中では、グループワークや参加者が英語を使った劇を实践。また、英語劇を教育現場で実践するために必要な考え方や押さえるべき点について、わかりやすい解説があり、あっという間の2時間となりました。

NEWS 個人・団体での大学見学を随時受付中。



本学では、オープンキャンパス以外の日でも、個人・団体(学年やクラス単位でも可)での大学見学を随時受け付けています。見学の内容は学科説明・模擬授業・学食体験・キャンパスツアーなど、ご希望に応じて実施いたします。「東北文科大学の雰囲気や自分の目で確かめたい」「東北文科大学のことをもっと知りたい」という受験生や保護者の皆さん、ぜひ大学見学へお越しください。詳しくは入試広報センターまで、お気軽にご相談ください。  
【入試広報センター】  
TEL:023-688-2296/E-mail:GO@t-bunkyo.ac.jp

東北文科大学からのお知らせや、最新の話題をお届けします。



挫折を乗り越え、拓いた道。  
全力で教え続けたい  
いのちを守る安全運転。

KAIYA HIROMI

## 海谷 宏美さん

株式会社蔵王自動車学園

もともとは公務員をめざしていたのですが、あえなく試験に失敗。すっかりふさぎこんでいた私に、進路指導課の先生は一般企業への就職を勧めてくれました。「たとえ進む道は変わっても、まだできることがあるはず」そう思えてきた矢先、度胸試しのつもりで面接を受けたのが今の勤務先である(株)蔵王自動車学園です。現在は教習指導員として、普通車や中型車の教習に加え、高齢者教習なども担当。さらに技能検定員として、修了検定や卒業検定を担当する立場です。

教習生の年代はさまざま。一人ひとりの性格や力量を見極め、10人いれば10通りの教え方を探っていく難しさがありますが、それが指導員の腕の見せ所と感ずる部分でもあります。卒業した教習生が何年後かに遊びに来てくれ、「先生、私まだ無事故・無違反だよ」などと声をかけてくれた時は心から安心しますし、大きなやりがいを感じる瞬間です。

これまでの教習生との数えきれないほどの楽しい出会い、自分を支えてくれる同僚との抜群のチームワーク。そんな人との関わりの大切さは、短大時代に学べたことだと感じます。剣道部の仲間や、学科を越えた友達との交流が自分を成長させてくれましたし、当時の人脈に今になって助けてもらう機会も少なくありません。学生のみならず、一つでも多くの出会いを楽しんでほしいです。

昨今、安全運転者の育成がますます重要な課題となつていきます。教習生は、卒業すれば私たちの目の届かないところで、自分の知識と技術だけを頼りに運転をしていかなければなりません。だからこそ、ここに通ってもらう限られた時間の中で、自分と他人の「いのちを守る運転」を全力で教え続けていきたいと思えます。

## 私の HISTORY

プロフィール  
1974年生まれ。山形県立山形中央高等学校出身。1995年山形女子短期大学(現 東北文教大学短期大学部)国文科卒業。同年、株式会社蔵王自動車学園に就職し、現在に至る。

1年次  
剣道の大会で東北2位に。インカレにも出場し一躍注目を浴びる

2年次  
公務員への道を断念し(株)蔵王自動車学園に就職

## ここがターニングPoint!

進む道が変わっても「自分のできることはある」と心機一転奮起しました



25歳  
結婚間もなくして年子を出産するも周囲の協力を得て仕事を続ける

30代  
技能検定員資格を取得。安全運転者を育成する使命感と責任感がより強いものに

現在  
教習生はもちろん、上司や後輩から頼りにされなくてはならない存在に